

# 自動化による イノベーション

Red Hat カスタマー  
サクセスシリーズ



# はじめに

03

# お客様導入事例

05-16

## 1

Cepsa、Red Hat Ansible Automation Platform で  
効率を向上

05

## 2

サウスウエスト航空、  
自動化のユースケースを拡大

08

## 3

Discover、徹底した自動化の  
文化で年間 80 万時間を削減

12

## 4

Mutua Madrileña、  
自動化を標準採用

14

## 5

MAPFRE、自動化をビジネス上の  
実験からビジネスクリティカルへ  
と進化

16

# まとめ

17

# はじめに

## デジタル世界のための自動化

自動化は、変化に対応するために不可欠なテクノロジーとなっています。10 年以上にわたり、自動化主導のイノベーションは Ansible® に牽引されてきました。また、オープンソース・コミュニティは自動化ソフトウェアの可能性を絶えず広げてきました。

ここでは、Red Hat® Ansible Automation Platform を実際に使用している 4 つの業界のお客様の事例を紹介し、その課題、アプローチ、成功、そして、お客様が組織のニーズに対処するためにどのように自動化を活用したのかについて説明します。これらの事例をご紹介します目的は、オープンソースの精神に則り、各業界内でイノベーションを推進しようとしている組織に何が可能なかを伝え、可能性を広げることです。

## 自動化のための Ansible

「Ansible」はプロジェクト、コミュニティ、アプリケーションのコレクションなど、さまざまなものを指しますが、その意義は人間が読むことができるプログラミング言語 **YAML** を使用し、オープンソースの自動化ソリューションを作成することにあります。Ansible は Ansible Automation Platform の中核ですが、プロジェクトと製品には多くの違いがあります。

Ansible (プロジェクト) は無料で使用でき、自由にダウンロードおよび変更できます。このプロジェクトには、数千人におよぶコントリビューターの経験と知性が活用されています。自動化コンポーネントを試して、自分自身または自分の組織のニーズに最適なものを見つきたい場合に適した選択肢です。

**Red Hat Ansible Automation Platform** は、自動化の標準化、運用化、スケーリングを模索する組織のエンタープライズ・ライフサイクルをサポートできる、有料のサブスクリプションです。Ansible Automation Platform は強化され、テスト済みで、信頼できるエンタープライズ製品であり、多数のアップストリーム・コンポーネント、60 を超えるパートナーによる Red Hat Ansible Certified Content Collections、組織での自動化のインストール、設定、サポートで試行錯誤する必要をなくす as-a-service 投資対効果 (ROI) ツールが含まれています。

人、プロセス、およびテクノロジーの統合を必要とする組織が Ansible Automation Platform を選択するのは、それが部門を超えたチームを対象としたエンドツーエンドの自動化エクスペリエンスを生み出し、自動化の開発者、エンジニア、運用チーム間にプラグアンドプレイの体験を提供するからです。

IT 部門のチーム間で自動化プラットフォームを使用することにより、サービス提供の高速化、ビジネスアジリティの向上、そして拡張性、一貫性、セキュリティ、透明性を高めるエンドツーエンドの統合プロセスの可視性を実現できます。<sup>1</sup>

## Red Hat Ansible Automation Platform を使用して、人、プロセス、テクノロジーを統合する

あらゆる規模の組織が自動化を実践しており、自動化を組織全体に拡張するために、タスクベースの分離したユースケースから自動化に移行しています。適切なプラットフォームは自動化の実行、制御、管理を支援し、組織が投資に対して最大の利益を得るために役立ちます。

Ansible Automation Platform はエンタープライズ向け IT 自動化ソリューションで、エンドツーエンドの自動化を大規模に構築し、デプロイし、管理するために必要なすべての機能が備わっています。強力なエージェントレス・フレームワークに基づく Ansible Automation Platform は、組織による自動化ワークロードの作成、管理、スケーリングを支援するように設計されています。IT プロセスからハイブリッドクラウドやエッジロケーションまで、エンドツーエンドの自動化ソリューションをデプロイするための、柔軟で安定したセキュリティ重視の基盤を提供します。

チームを支援するために Ansible Automation Platform を選択する組織が増えています。これは次のことを実現するのに役立ちます。

- サポート付きの信頼できるプラットフォームと認定コンテンツを使用して、自動化戦略を加速する
- プロダクション環境の複数のクラスタにまたがる自動化のスケーリング、制御、管理に役立つ管理機能を獲得する
- コストを削減しながら、イノベーションを促進し、リスクを軽減し、回復力を高める

Red Hat コンサルティングは、組織がメンターをベースとするオープンプラクティスのアプローチを開始するのに役立ちます。これによってチームは複雑なユースケースでのコラボレーションとイノベーションを実現できます。Red Hat のコンサルタントは、最初からベストプラクティスとガイダンスを活用し、組織全体の自動化を支援するフレームワークを提供します。

次ページからのお客様導入事例では、組織が Ansible Automation Platform を使用して包括的な自動化アプローチを実行している事例や、構築に必要な基盤を得るために統合自動化プラットフォームを使用している事例を紹介します。



## Cepsa、Red Hat Ansible Automation Platform で効率を向上

世界的なエネルギーおよび化学企業の Cepsa は、コスト、リスク、ダウンタイムを削減しながら、効率を高めてコンプライアンスを維持したいと考えていました。この目標を達成するために自動化を活用し、労働時間の効率化、サービス応答時間の改善、IT セキュリティの強化、組織文化の変革を実現しました。

### Red Hat Ansible Automation Platform へのアップグレードの準備を完了

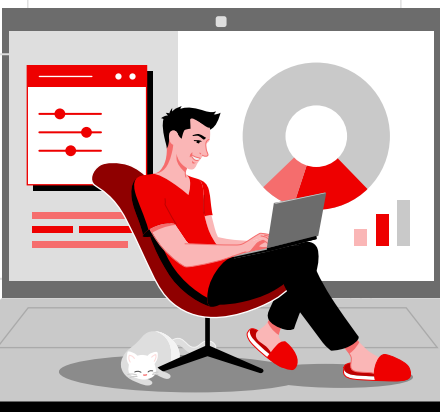
運用効率を高めて一貫した IT セキュリティを確立する自動化への第一歩を踏み出すため、Cepsa は 2018 年にデジタル・トランスフォーメーションの取り組みを開始しました。同社はコミュニティ版の Ansible を採用しました。この自動化ツールは、Cepsa が組織全体に拡張したいと考えていた効率性を備えていました。

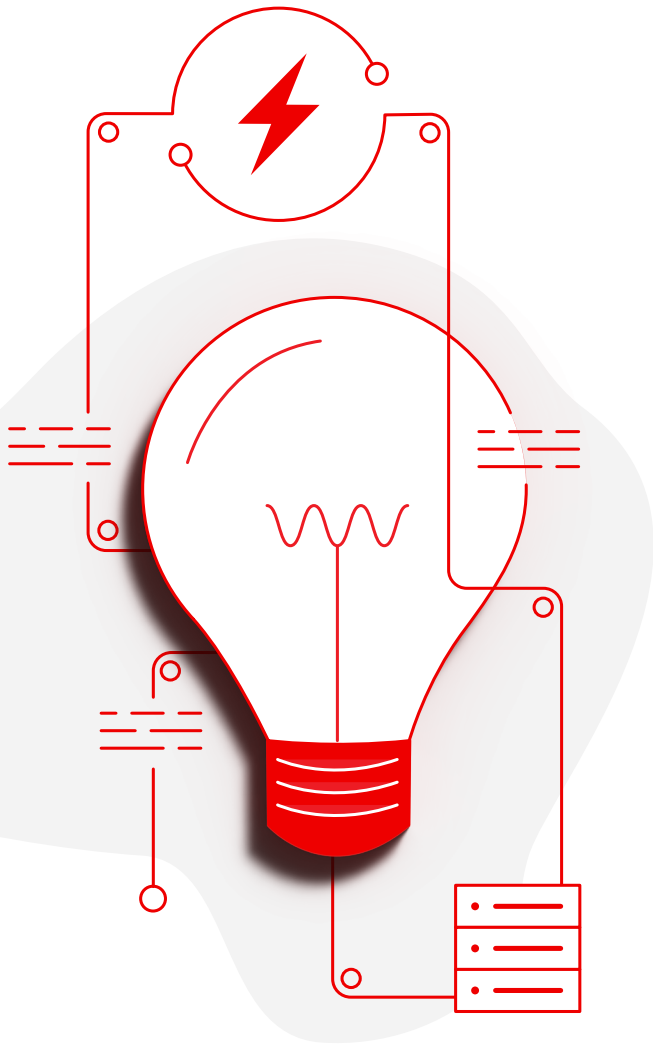
「最初は、コミュニティ版の Ansible を使用して小規模なサービスを自動化していました」と、Cepsa の開拓および運用部門の自動化管理者である Francisco José Martín 氏は語ります。「その後、オンプレミスで動かしていた SAP プラットフォームを AWS クラウドで動作する SAP S/4HANA® へと移行させる複雑なプロジェクトを実施しました。自動化が役立つことはわかっていましたが、当社の目標を達成するには自動化プラットフォームが必要でした」

初期の自動化プロジェクトで成功を収めたこと、そして Red Hat とは長年にわたる関係を構築していたことから、Cepsa は Red Hat Ansible Automation Platform によって Ansible を事業全体に拡張することを決定しました。Cepsa は Ansible Automation Platform を使用して、自動化サービスを大規模に構築および運用するためのサポートされた基盤と、構成可能でコラボレーティブな信頼できる実行環境を得ることができました。

Cepsa は、SAP 移行用に Ansible Automation Platform を採用しました。Ansible Automation Platform は、視覚的なダッシュボードと、自動化機能およびツールのアクセス制御を提供します。これらのツールには分析システムと再利用可能な認定コンテンツが含まれているため、ユーザーはインフラストラクチャを一元化して制御できます。

Cepsa は、自動化プラットフォームの価値を最大化する方法について、Red Hat コンサルティングにガイダンスを求めました。Cepsa と Red Hat コンサルティングは Red Hat Navigate を通じて協力し、ナレッジギャップと、自動化イニシアチブの実装を成功させるために必要となる文化的変化を特定しました。Red Hat は、チームが自動化とその可能性を理解できるように設計されたオンラインワークショップを提供することで、Cepsa が自動化のための組織モデルを確立できるよう支援しました。Cepsa は Red Hat のエキスパートと連携して、SAP 移行をわずか数カ月で完了させ、1 年以内に 400 以上の IT 運用プロセスを自動化しました。





## 自動化の文化によって競争上の優位性を獲得

Ansible Automation Platform により、Cepsa の多様なチームが自動化のための一元化された環境を使用できます。同社は、これらのチーム間でガイドとワークフローを共有しながら、必要に応じて個別のアプリケーションやインフラストラクチャを維持できます。「Red Hat はグループアプリケーションの管理に役立ちます。この管理によって、ユーザーが必要とする自律性を提供できます」と、Cepsa の開拓および運用部門の自動化管理者である Francisco José Martín 氏は述べています。

Cepsa は、自動化アプローチを最適化することで、前年比で 35% の生産性向上を実現しました。同社は、以前は繰り返しの IT 管理タスクに費やされていた 6,000 時間以上の作業時間を、より戦略的な作業に振り向けることができました。

66

生産性の高いビジネスは、競争力の高いビジネスでもあります。1 人の従業員の 18 カ月分に相当する作業時間を、IT 部門内のもっとやりがいのある戦略的なプロジェクトに当てられるようになりました。

Cepsa 開拓および運用部門 自動化管理者  
Francisco José Martín 氏

99

## アクセス制御を改善して IT セキュリティを向上

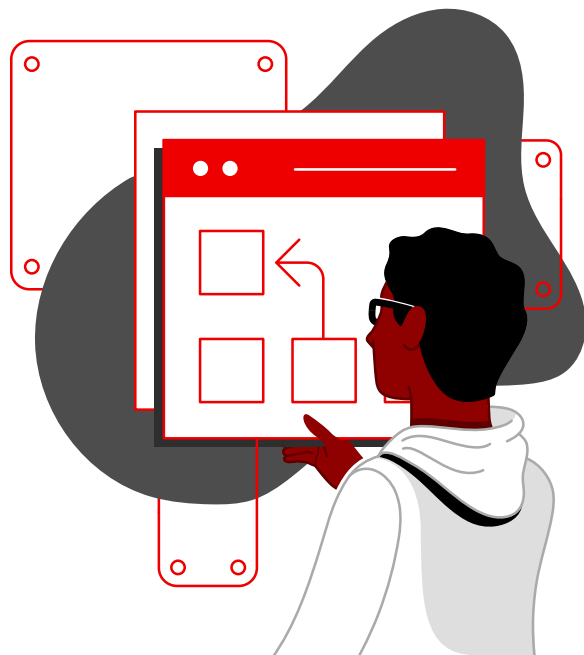
Cepsa は、プロセスの標準化によってシステム内のセキュリティ管理権限の追加を減らし、リスクを緩和することもできました。現在は、アクセスを過度に拡張することなく、適切な権限レベルが付与されるように、職務と部門ごとにユーザーをグループ化しています。

「サーバーの再起動など、これらのグループが実行できるアクションのカタログを作成したので、サービスを再起動するために技術者がログインする必要はありません。代わりに、このプロセスは自動化されています」と Martín 氏は語ります。「技術者は Ansible Automation Platform にアクセスし、資格情報なしでサービスを再起動できます。また、コードで事前に決められているので、常に同じ方法で実行されます」



## 自動化の専門知識へのアクセス

Red Hat コンサルティングの支援を受けて、Cepssa は新しい自動化テクノロジーとアプローチの価値を最大化するために必要な変更を実装しました。Red Hat のエキスパートは Cepssa チームと連携し、継続的インテグレーションおよび継続的デリバリー (CI/CD) アプローチを通じて、アジャイルな作業アプローチと継続的な品質改善の価値を示しました。



66

自動化はポジティブな文化的変化を後押しし、その結果、チーム間のコラボレーションが向上しました。

Francisco José Martín 氏

## 複数のビジネスチャンスの自動化を統合

Cepssa は、Ansible Automation Platform を ServiceNow チケットシステム統合に拡張するなど、より多くの自動化の機会の活用を計画しています。「Ansible Automation Platform と ServiceNow の統合は、リクエストとワークフローをより適切に管理するために不可欠です」と Martín 氏は述べています。

また、Cepssa は、オンプレミスとクラウドの両方でアプリケーションを実行するために、Kubernetes コンテナ・オーケストレーション・テクノロジーに基づくハイブリッド・アプリケーション・プラットフォームも作成しています。「この新しいプラットフォームは、透明性を高め、運用を一元化することで、開発の柔軟性を向上するのに役立ちます」と Martín 氏は語ります。「Red Hat のおかげで、自動化を当社のデジタル・トランスフォーメーションの取り組みの中心に据えることができました」

### ダウンロード： Cepssa のお客様導入事例





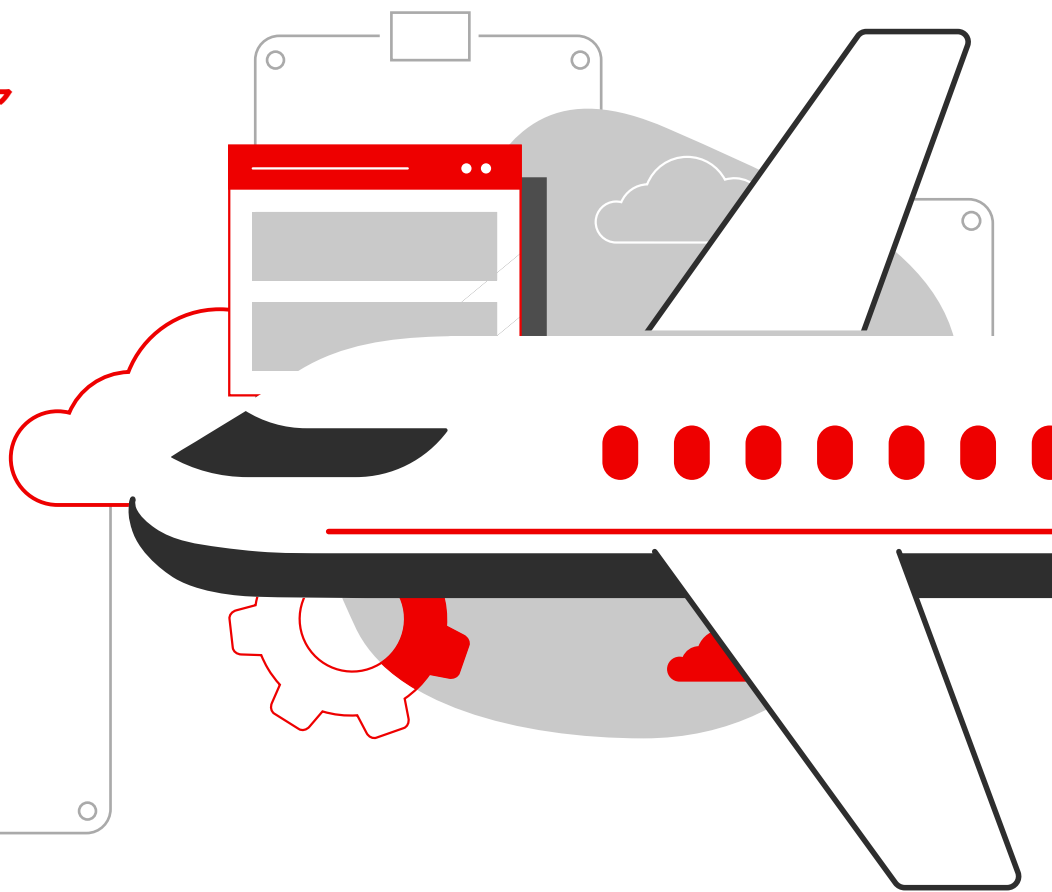
## サウスウエスト航空、自動化のユースケースを拡大

サウスウエスト航空は、11カ国の120の空港から毎日4,000便以上のフライトを運航しています。この規模の運用には、それに対応できる堅牢で信頼性の高いネットワーク・インフラストラクチャが必要です。ITネットワークをサポートし、サービスの停止を軽減するために、サウスウエスト航空は自動化ソリューションの導入を検討しました。

### ネットワーク・エンジニアリングに自動化を適用

サウスウエスト航空のネットワークエンジニアの中心的な使命は、自社のネットワークの円滑な動作を維持することです。約5,000台のネットワークデバイス、スイッチ、F5 LTM および GTM ロードバランサーを管理しており、各空港には25～100台のデバイスがあります。

「それぞれの空港では、スタッフがゲートで発券し、お客様を飛行機に乗せるために、すべてのアプリケーションにアクセスする必要があります」とサウスウエスト航空のシニアシステムエンジニア、Carlos Tapia氏は述べています。



非常に多くの空港にきわめて多くのデバイスがあるため、ネットワーク構成のドリフトを回避することが課題となっていました。さらに、エンジニアがメンテナンスに使える時間はフライト間のほんのわずかでした。つまり多くの場合、早朝に変更を実装し、その後、その変更の文書化に何時間も費やしていました。

サウスウエスト航空は、自動化によってこの非効率な変更プロセスに対処できないかと検討し始めました。自動化された変更プロセスでは、ネットワークエンジニアの手作業を必要とせずに、変更チケットの作成、変更タスクのスケジュール設定、変更の実装、チケットの即時クローズが可能になります。


同社の最初の自動化ユースケースは、ネットワークアクセス制御 (NAC) と、不正な外部デバイスが IP アドレスを取得してサウスウエスト航空のネットワークに接続することからネットワークを保護することに重点を置いたものでした。チームは Ansible Automation Platform を使用して、さまざまな NAC ユースケースの構成を構築およびテストし、それらをすべてのスイッチにデプロイしました。



最近、サウスウエスト航空は Ansible Automation Platform を使用して空港ネットワークの高速化を支援しました。同社のネットワークエンジニアは、各空港で必要とされるものの 90% に対応する基盤となる、標準化された事前構成済みのネットワーク・セットアップを作成しました。Ansible Playbook がスイッチとルーターのコア機能を設定し、その後、ネットワークエンジニアが空港固有の要件を構成します。この事前構成により、ネットワークの一貫性が確保され、信頼性が高まるだけでなく、時間を大幅に節約できます。自動化されていなければ、エンジニアが1つのデバイスを構成するのに (空港の規模によって異なりますが) 少なくとも 30 分は必要になります。自動化すれば、プロセス全体が約 20 分で完了します。

Playbook は、Ansible ロールを使用してタスク、テンプレート、ファイル、変数を整理し、作成されます。YAML アプローチに従ってディレクトリのレイアウトを作成し、Jinja2 テンプレートを利用してテキストをフォーマットし、GitLab と統合してそれを信頼できる唯一の情報源とします。最大の Playbook の 1 つは、サウスウエスト航空の Cisco IOS ネットワーキング・ソフトウェアへのアップグレードを管理するものです。

サウスウエスト航空には少なくとも 10 のスイッチモデルがあり、それぞれに複数のファームウェア・バージョンが含まれているため、これらの更新を手動でアップグレードするのは複雑で時間がかかります。自動化により、その Playbook が各スイッチモデルに必要なソフトウェアバージョンを自動的に特定し、ファームウェアをダウンロードして検証を実行し、アップグレードを完了します。



## 時間を節約すると同時にスケーラビリティを向上

Ansible Automation Platform を使用することで、サウスウエスト航空は時間の大幅な節約を実現しています。NAC のユースケースを見ると、ネットワークエンジニアが構成を構築、テストし、すべてのスイッチにデプロイするには 8 ~ 12 カ月かかりますが、自動化により、必要な時間はわずか 6 週間になりました。


Ansible Automation Platform を使用すると、重要なシステムがダウンした場合にも時間を大幅に節約できます。エンジニアのチームが、大規模なダウンタイムを回避できる適切なスピードで、すべてのデバイスだけでなくファイアウォールや DNS までの手動チェックを実行することはできません。しかし Ansible Automation Platform を使用すれば、100 の異なる Playbook を同時に起動して、ネットワーク内に問題があるかどうか、またどこに問題があるかを特定するために必要なすべての情報にアクセスできるため、解決までの時間が短縮され、ダウンタイムが削減されます。

スピードの向上は効率性と密接に関係しており、これがサウスウエスト航空のネットワークエンジニアの業務拡大に役立っています。以前は、Cisco IOS のアップグレードは手動で行っており、エンジニアは通常、夜間のメンテナンス時間帯に 10 台のデバイスしか更新できませんでした。Ansible Automation Platform を使用することで、少なくとも 100 台のデバイスの同様のアップグレードを一晩で完了できました。

## 標準化によってサービス停止リスクを軽減


Ansible Automation Platform は、サウスウエスト航空のネットワークエンジニアが新しいスイッチをセットアップする際の構成ドリフトを回避するうえでも重要な役割を果たしました。自動化を採用する前、エンジニアは構成ドキュメントを頼りにスイッチをセットアップしていました。しかし、別のエンジニアが同じタイプのスイッチを更新し、その更新をドキュメントに反映していなかった場合、構成ドリフトが発生します。

現在、ネットワークエンジニアはサウスウエスト航空の Web ポータル経由でアクセスできる Playbook を使用して、新しいスイッチを構成しています。標準化された構成により、ネットワーク停止を引き起こす可能性のあるドリフトを発生させる人的エラーのリスクが排除されます。



**ゴールデン構成で Ansible Automation Platform を使用することで、人的エラーを軽減することもできます。自動化はミスを犯しません。**

サウスウエスト航空  
シニアシステムエンジニア  
Carlos Tapia 氏



## 解放されたエンジニア がイノベーションに集中

以前は時間のかかる手動プロセスだったものが、自動化によって実行されるようになったため、サウスウエスト航空のネットワークエンジニアは、より大規模で複雑なプロジェクト（サウスウエスト航空のルーティング環境の改善など）に集中し、イノベーションにより多くの時間を費やすことができるようになっています。

## ユースケースを拡大して成功を最大化

サウスウエスト航空は自動化を活用して成功をさらに拡大したいと考えており、Ansible Automation Platform を使用できる他の分野を検討しています。重点分野となる可能性があるのは、ファイアウォールやソフトウェア・デファインド WAN の自動化です。

サウスウエスト航空の最終目標は、GitLab を信頼できる情報源として機能させ、Infrastructure as Code (IaC) モデルを実装することです。サウスウエスト航空のネットワークエンジニアは、GitLab で一度変更を加えます。リスナーが更新の必要な場所を確認し、変更をスケジュールし、メンテナンス期間内に実装して検証します。これは、Tapia 氏がすべてのネットワークデバイス、プラットフォーム、環境にわたって機能することを望んでいる完全に「手動不要」のアプローチです。また、ネットワークエンジニアは自動化をさらに活用したいと考えており、Red Hat Ansible Lightspeed がその開始に役立つ可能性があります。

このソリューションは、自動化チームが Ansible のコンテンツをより効率的に作成、導入、メンテナンスできるように設計された生成人工知能（生成 AI）サービスです。IBM watsonx Code Assistant に接続された Red Hat Ansible Lightspeed により、Ansible 作成者は自動化のアイデアを自然言語プロンプトに基づいてコンテンツに変換できるようになります。

「私たちは、より多くのエンジニアに自動化のマインドセットを浸透させたいと考えています」と Tapia 氏は言います。「Ansible Lightspeed は、エンジニアが Playbook の構成方法を理解するのに役立ちます。また、新しいベンダーのネットワークデバイスのオンボードやクラウドへの拡張時にも、これを使用することを計画しています。Ansible Lightspeed は、新しい Playbook のフレームワークを提供してくれるでしょう」

**ダウンロード：**  
サウスウエスト航空の  
お客様導入事例

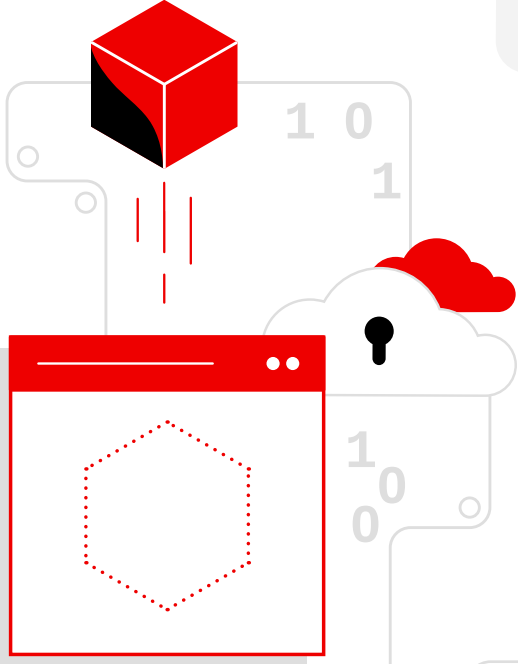


# DISCOVER®

## Discover、徹底した自動化の文化で年間80万時間を削減

Discover は、デジタルバンキングおよび決済に従事する大手企業であり、規制要件の厳しい環境で事業を行っています。事業全体のプロセスの数は膨大であり、同社が成功するためには、かなりのレベルの厳密さで事業を運営することが不可欠です。Discover は、予測可能で一貫性のあるプロセスを作成できることが、イノベーションと継続的な成長を実現するための鍵であることに気がきました。

製品ベースの組織になるためのより広範な戦略の一環として、Discover は手作業のプロセスを理解し、最適化し、自動化または廃止するミッションに注力しました。主な目的は、その事業において考えられる限りのあらゆるプロセスに自動化を拡張することでした。



66 反復可能なソリューションを使用すると、当社のビジネスの他の分野でこれらを非常にすばやく、より頻繁に開発してデプロイすることができます。これは当社にとって重要なイネーブラーであり、投資対効果 (ROI) を向上させます。

Discover Financial Services 取締役 Joe Mills 氏

## 徹底した自動化を構築するための適切なプラットフォーム

同社が「エクストリーム・オートメーション」と呼ぶプログラムを事業全体で開始するには、そのタスクに対応できるソフトウェア・プラットフォームが必要です。エクストリーム・オートメーションには DevOps、プロセス自動化、自動化を実践するコミュニティという3つの柱があり、それぞれに独自のシニアリーダーがいます。

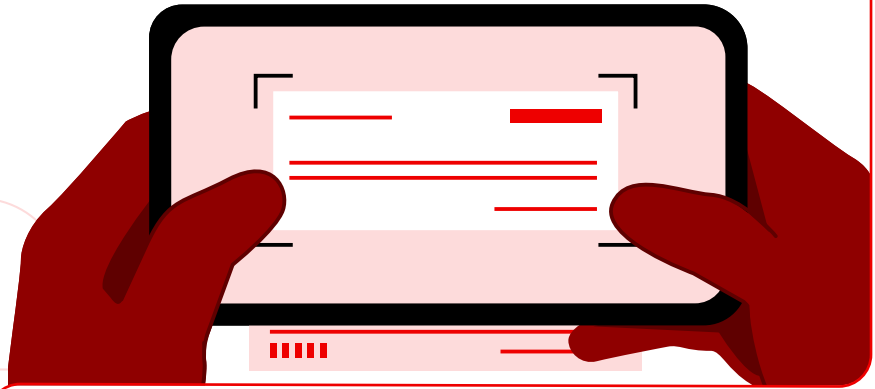
Ansible Automation Platform は、構成可能でコラボレーティブで信頼できる実行環境を備えた理想的なプラットフォームを提供し、手作業やエンジニアリング以外のタスクを評価し、それぞれに適した自動化ソリューションを特定するプロセスを容易にしました。これにより、Discover は複製可能なソリューションに共通する問題を特定することができました。また、自動化を一元的に行う組織 (自動化実践コミュニティ) を立ち上げました。この組織は自動化のエキスパートで構成されており、問題の受付窓口となって、解決に使用できる自動化製品を見つける支援を行います。



## 結果として多大な価値を得る

Discover は、スタッフが行っていたデータ抽出要求のトリアージ、検証、処理のプロセスを自動化し、この分野だけで年間約 20,000 時間を解放しました。休暇申請の処理も自動化され、今ではソフトウェアが 1 回の週末で 23,000 件ものリクエストを処理し、184,000 回のクリックに相当する、数週間におよぶ作業を削減しています。

反復的または繰り返し可能なタスクを自動化することで、スタッフの時間を解放し、他の業務でより有効に活用できるようになりました。コールセンターのエージェントは、通話中の顧客のニーズへの対応と解決により多くの時間を費やせるようになり、経理担当者は、自動照合機能のおかげでより価値の高いタスクに注力できるようになりました。



## Discover：ただ一つの組織のミッション

Discover は、自動化への注力を維持し、そのアプリケーションを事業全体で加速したいと考えています。「進化したテクノロジーによって、組織全体でより多くのデータを消費し、それらにアクセスできるようになっており、当社が使用するデータは増加しています。以前は作業がサイロ化されていましたが、現在、私たちは全体としてエクストリーム・オートメーションを推進しており、そのミッションに向かって進んでいます。驚くようなことができると思います」と Mills 氏は述べています。

**ダウンロード：**  
Discover のお客様導入事例

## Mutua Madrileña、自動化を標準採用

Mutua Madrileña は、1930 年に設立されたスペインの大手保険会社です。同社は合併と買収を通じて成長し、その過程で異種のテクノロジーのプラットフォームを蓄積し、統合を重ねてきました。そして 2016 年にデジタル・トランスフォーメーション戦略を採用したことで、プラットフォームの数は 28 から 60 以上に拡大しました。この複雑な環境の管理には時間がかかり、操作エラーのリスクが高まりました。この複雑さに対処し、プロセスを改善するために、同社のミドルウェアチームは自動化を最大限に活用することを目指しました。



### インテリジェントな自動化と可観測性の採用

Mutua Madrileña は、ロードマップ上のすべてのプロジェクトに自動化を組み込むことを決定し、自動化により既存の手動プロセスを改善できる箇所を分析し、プラットフォーム開発ライフサイクルの早い段階で自動化ステージを追加しました。

これまでは手動で実行していたプロセスを自動化することにより、ビジネス復旧計画環境（プラットフォーム構成データの脆弱性を含む固有のリポジトリ）の作成から、プラットフォームの監視、修正のインストール、継続的インテグレーションおよび継続的デプロイメント（CI/CD）におけるアプリケーション・ライフサイクル管理のサポートまで、プラットフォームのプロビジョニングが容易になりました。また、GitOps を採用し、プロビジョニング、運用、プラットフォームのメンテナンスを、信頼できる唯一の情報源に一元化しました。

Mutua Madrileña はリアルタイムイベントに迅速に対応するために、Event-Driven Ansible も実装しました。また、さまざまな環境にわたって可視性を高め、Event-Driven Ansible をトリガーする前に異常なパターンや問題をプロアクティブに特定するために、IT チームは Dynatrace のインテリジェントな可観測性も統合しました。インテリジェントな可観測性とイベント駆動型の自動化を組み合わせることで、ミドルウェアチームの解決時間が短縮され、ダウンタイムが減少しました。これによって、ミドルウェアチームが継続的な改善に注力すべき箇所についてより深い洞察が得られるようになりました。「可観測性を自己修復と組み合わせることで、解決時間が短縮され、サービスのダウンタイムが削減されました。サービスチケットの 50% 削減も実現しています」と、Mutua Madrileña のミドルウェア、自動化、可観測性責任者の Marta Ceciliano 氏は述べています。



## 標準化されたプロセスにより市場投入時間の短縮とアジリティ向上を達成

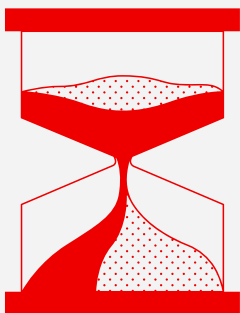
統合された自動化ネットワークと標準化された開発手法のおかげで、Mutua Madrileña はさまざまな環境に新しいプラットフォームを迅速にプロビジョニングでき、正しい構成が自動的に適用されます。これらの環境は、機能を失うことなくカスタマイズできます。この標準化によって新しい開発のリリースが加速され、同社のチームは壊滅的な出来事に対応して新しい環境を迅速に構築できるようになります。

この導入の容易さは、市場投入時間の短縮だけでなく、同社のアジリティを高めるためにも重要です。ミドルウェアチームは、アプリケーションをよく理解している開発チームに、制御された方法でプラットフォームを操作する機能を提供できるため、応答時間が短縮されます。



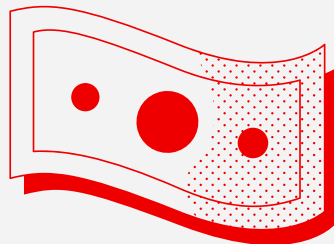
**Red Hat Ansible Automation Platform** を選択したことは、当社がこれまでにした最良の決断の1つでした。

Mutua Madrileña ミドルウェア、自動化、可観測性責任者  
Marta Cecilia 氏



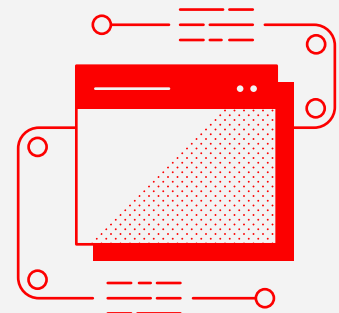
### 自己修復機能によりプラットフォームのダウンタイムを削減または排除

Dynatrace のインテリジェントエンジンは AI を使用してアプリケーションの異常なアクティビティや動作を検出し、自動化された Event-Driven Ansible ワークフローをトリガーして問題を修正します。これにより、Mutua Madrileña はアプリケーションがアクティブな間に既知のエラーの影響を排除または軽減し、コストのかかるダウンタイムを回避できるようになりました。



### 運用コストの削減とイノベーションの向上

IT チームの時間は、反復的なタスクによって独占されることもあります。手動プロセスを自動化することで、Mutua Madrileña は運用コストを削減し、高度な資格を持つ技術者をより戦略的で革新的な活動に従事させることができます。



### 自動化を標準に

このような目覚ましい成果を達成した Mutua Madrileña のミドルウェアチームは現在、社内のすべてのシステムに自動化を組み込み、自動化と可観測性の両方を標準として新しいサービスを開始することに注力しており、他の部門やプラットフォームもミドルウェアチームの経験から恩恵を受けることができるようになっています。「Red Hat のサポートを受けることで、自分たちは正しい道を進んでいるのだという自信と安心感が得られます」と Cecilia 氏は述べています。

**ダウンロード:**  
Mutua Madrileña の  
お客様導入事例



# MAPFRE

## MAPFRE、自動化をビジネス上の 実験からビジネスクリティカルへ と進化

マドリッドに本社を置く世界的な保険会社である MAPFRE は、クラウド戦略を策定した際に、新しい市場への参入の迅速化、インフラストラクチャ・コストの最適化、二酸化炭素排出量の削減、レジリエンスとセキュリティの維持という目標を達成するために自動化が必要であることをすぐに認識しました。MAPFRE は、主要なプロセスに自動化を適用するために Ansible Automation Platform を導入しました。



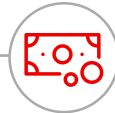
### ビジネスの主要な柱に 自動化を適用

MAPFRE は、コストとサステナビリティ、市場投入時間、レジリエンスとセキュリティという 3 つの主要な重点領域に対処するために Ansible Automation Platform を使用することを決定しました。



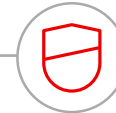
#### 市場投入時間

自動化を実装する前、MAPFRE が新機能を市場に提供するまでには、クラウド環境の作成にかかる 15 日間、開発者のオンボーディングにかかる 3 週間を含めて 6 カ月かかっていた。Ansible Automation Platform を採用することで、MAPFRE はリードタイムを 55% 削減し、開発時間を 4,700 時間節約し、エラー率を 85% 削減することができました。



#### コストとサステナビリティ

MAPFRE は Ansible Automation Platform を使用して実稼働前環境のシャットダウンを自動化し、使用されていない環境を 30 日後にクローズすることで孤立したリソースを削除しました。そのような環境を完全になくすために、時間のかかる手動プロセスではなく自動化を使用することで、MAPFRE はコストを削減することができました。



#### レジリエンスとセキュリティ

エラー率を減らすために、同社は修復プロセスと障害復旧環境に自動化を適用し、リスクのある環境の切断を自動化しました。

### 自動化をさらに進める

MAPFRE は現在、自動化が成功に不可欠であると考えています。同社は、Event-Driven Ansible と Policy as Code (PaC) を使用してセキュリティへの重点をさらに強化し、エラー率を引き続き削減してカスタマーエクスペリエンスを向上させることを計画しています。

プレスリリースを  
読む

# まとめ

## Red Hat Ansible Automation Platform で自動化の可能性を広げる

自動化を活用する組織は、チームがすでに使用しているツールやテクノロジーとの統合が可能で、強化されたプラットフォームからどのようにメリットを得られるのか。私たちはこれらのストーリーを通じてそのことを伝えたいと考えました。Ansible Automation Platform を使用すると、チームが複数のコンポーネントを管理したり、各コンポーネントのライフサイクルにわたってコンテンツのライブラリを精選したりする必要がなくなります。

ここで紹介した事例の中に、お客様のユースケースに当てはまるものや特に興味を引くものがありましたら、ぜひ事例の全文をダウンロードして詳細をご確認ください。

チームがビジネス価値を提供するスピードとアジリティを備え、より効率的に作業するために、自動化をどのように活用できるかをご覧ください。Ansible Automation Platform の詳細と、チームが複雑なマルチドメインの自動化プロジェクトを大規模に実行するためにどのように役立つかをご確認ください。

お客様、パートナー、アナリストの実際のユースケース、体験談、洞察をさらに詳しくご確認ください。Ansible Automation Platform が組織に提供できるものを把握し、そこからヒントを得ることができます。

[お客様導入事例を読む](#)

### Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザーであり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

#### アジア太平洋

+65 6490 4200  
apac@redhat.com

#### オーストラリア

1800 733 428

#### インド

+91 22 3987 8888

#### インドネシア

001 803 440 224

#### 日本

03 4590 7472

#### 韓国

080 708 0880

#### マレーシア

1800 812 678

#### ニュージーランド

0800 450 503

#### シンガポール

800 448 1430

#### 中国

800 810 2100

#### 香港

800 901 222

#### 台湾

0800 666 052